



## 2019年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月7日

上場会社名 株式会社アイ・エス・ビー

上場取引所 東

コード番号 9702 URL <https://www.isb.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若尾 逸雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 竹田 陽一 TEL 03-3490-1761

四半期報告書提出予定日 2019年5月15日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第1四半期の連結業績 (2019年1月1日～2019年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	5,697	27.2	479	16.4	490	18.0	305	11.4
2018年12月期第1四半期	4,480	0.9	411	16.8	415	20.1	273	67.0

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 318百万円 (22.8%) 2018年12月期第1四半期 259百万円 (54.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	59.74	—
2018年12月期第1四半期	53.64	—

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第1四半期	13,415	6,342	47.2
2018年12月	9,955	6,185	62.1

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 6,335百万円 2018年12月期 6,185百万円

※ 『税効果会計に係る会計基準』の一部改正(企業会計基準第28号2018年2月16日)等を2019年12月期第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年12月期の連結財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	33.00	33.00
2019年12月期	—				
2019年12月期(予想)		0.00	—	33.00	33.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年12月期の連結業績予想 (2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,000	26.6	500	△3.8	500	△5.6	300	△16.9	58.76
通期	22,500	29.0	950	9.3	980	6.8	580	6.1	113.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
  - ② ①以外の会計方針の変更： 無
  - ③ 会計上の見積りの変更： 無
  - ④ 修正再表示： 有

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期1Q	5,105,800株	2018年12月期	5,105,800株
② 期末自己株式数	2019年12月期1Q	7株	2018年12月期	7株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期1Q	5,105,793株	2018年12月期1Q	5,105,794株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信（添付資料）2ページ「連結予想など将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

以 上

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、中国経済の減速を受け、輸出の減少等の影響がみられるものの、内需は堅調に推移しており、企業収益の改善が進むとともに、雇用および所得環境の改善等もあり、全体としては緩やかな景気拡大傾向で推移しました。

世界経済においては、米国の保護主義的な通商政策による米中貿易戦争の影響等により、中国経済の景気は減速しており、さらには英国のEU離脱が先行き不透明であることなど、経済の先行きが懸念されるものの、引き続き緩やかな回復傾向で推移しました。

当社グループが属する情報サービス産業におきましては、大手企業を中心としたIT関連投資は引続き高い水準にあり、好調な企業収益を背景に、様々な業種で新しいサービス・技術の活用が始まっております。従来のシステム開発案件では、人手不足に対応した業務の効率化等、IT関連投資は、堅調に推移いたしました。

このような環境の中で、当社グループは今年で2年目となる、中期経営計画の重点施策を着実に推進するとともに、引き続き顧客市場の動向に注視しながら積極的に幅広い業種からの受注獲得に注力してまいりました。

また、当社グループに、新たに3社を加え、積極的な事業展開を図り事業規模の拡大に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高56億97百万円（前年同四半期比27.2%増）、営業利益4億79百万円（前年同四半期比16.4%増）、経常利益4億90百万円（前年同四半期比18.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億5百万円（前年同四半期比11.4%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (情報サービス事業)

情報サービス事業では、好調な企業収益を受け、全体的に堅調に推移いたしました。「公共」は、新規連結会社の影響に加え、各自治体向けの改元対応等により、「組込み」は、車載や医療、AV家電の受注が堅調に推移したことにより、売上高は前年同四半期に比べ増加いたしました。「携帯端末」、「モバイルインフラ」は、期首計画は、達成したものの、主要メーカーのスマートフォン開発費削減や基地局開発の業務の低コスト化の影響により、前年同四半期に比べ売上高は減少いたしました。「フィールドサービス」は、クラウド関連の構築業務の受注は拡大傾向にあり売上高も堅調に推移しております。

なお、情報サービス事業は、当第1四半期連結累計期間より新たに連結子会社化した2社の影響により、売上高、セグメント利益は前年同期に比べ大幅に増加しております。

以上の結果、当事業における売上高は46億87百万円（前年同四半期比33.9%増）、セグメント利益は3億11百万円（前年同四半期比19.5%増）となりました。

#### (セキュリティシステム事業)

セキュリティシステム事業は、新規物件への導入、既存セキュリティシステムの刷新など、堅調に推移しております。また、「建設キャリアアップシステム (CCUS)」向け「EasyPass CR」等新サービスの提供も積極的に取り組んでおります。

以上の結果、当事業における売上高は10億10百万円（前年同四半期比2.9%増）、セグメント利益は1億63百万円（前年同四半期比9.3%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は、134億15百万円と前連結会計年度末より34億60百万円増加いたしました。これは主として現金及び預金、受取手形及び売掛金やのれん等の増加額が、仕掛品等の減少額を上回ったことによるものであります。

負債は、70億73百万円と前連結会計年度末より33億3百万円増加いたしました。これは主として短期借入金、未払金や賞与引当金等の増加額が未払法人税等や受注損失引当金等の減少額を上回ったことによるものであります。

純資産は、63億42百万円と前連結会計年度末より1億56百万円増加いたしました。これは主として利益剰余金やその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

なお、自己資本比率は、47.2%と14.9ポイント低下いたしました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの第1四半期の業績は期首計画を達成しておりますが、2019年2月14日の期首業績予想公表時に比べ、今後の外部環境や業界の動向、また当社グループの受注動向等に大きな変動はないと考えており、第2四半期累計および通期の連結業績予想につきましては期首業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,550,660	4,668,722
受取手形及び売掛金	3,628,640	3,981,158
前払費用	95,567	161,202
商品	408,283	483,903
仕掛品	208,481	145,218
貯蔵品	1,689	2,257
その他	62,910	113,333
貸倒引当金	△29,665	△30,755
流動資産合計	7,926,567	9,525,039
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	413,627	447,056
減価償却累計額及び減損損失累計額	△277,640	△289,092
建物及び構築物（純額）	135,986	157,964
土地	605,084	605,084
その他	501,381	529,515
減価償却累計額及び減損損失累計額	△406,966	△432,583
その他（純額）	94,414	96,931
有形固定資産合計	835,486	859,980
無形固定資産		
のれん	354,604	2,010,093
その他	141,685	119,448
無形固定資産合計	496,290	2,129,542
投資その他の資産		
投資有価証券	374,293	392,412
長期前払費用	5,279	5,295
差入保証金	166,778	227,741
会員権	11,600	14,150
繰延税金資産	88,652	210,804
その他	61,166	61,645
貸倒引当金	△10,400	△10,626
投資その他の資産合計	697,371	901,421
固定資産合計	2,029,148	3,890,945
資産合計	9,955,715	13,415,984

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,265,632	1,330,304
短期借入金	830,000	2,830,000
未払金	473,740	688,214
未払費用	59,434	109,423
未払法人税等	271,385	217,553
未払消費税等	170,931	278,654
賞与引当金	17,196	386,390
役員賞与引当金	27,460	27,460
受注損失引当金	18,058	789
その他	199,357	583,021
流動負債合計	3,333,196	6,451,810
固定負債		
社債	-	28,000
長期借入金	-	94,948
退職給付に係る負債	187,084	194,668
役員退職慰労引当金	186,200	227,767
資産除去債務	58,467	71,739
その他	4,929	4,495
固定負債合計	436,681	621,618
負債合計	3,769,878	7,073,429
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,707,526	1,707,526
資本剰余金	2,311,704	2,311,704
利益剰余金	2,099,556	2,236,107
自己株式	△6	△6
株主資本合計	6,118,780	6,255,331
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	97,803	110,918
為替換算調整勘定	△30,746	△30,690
その他の包括利益累計額合計	67,056	80,228
新株予約権	-	6,996
純資産合計	6,185,837	6,342,555
負債純資産合計	9,955,715	13,415,984

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
売上高	4,480,937	5,697,721
売上原価	3,472,645	4,269,884
売上総利益	1,008,291	1,427,836
販売費及び一般管理費	596,818	948,704
営業利益	411,472	479,132
営業外収益		
受取利息	11	934
受取配当金	3,000	400
受取保険金	-	10,000
保険解約返戻金	1,952	7,786
その他	1,944	2,546
営業外収益合計	6,908	21,667
営業外費用		
支払利息	977	2,865
新株予約権発行費	-	6,350
為替差損	1,340	-
その他	534	1,379
営業外費用合計	2,852	10,595
経常利益	415,529	490,204
税金等調整前四半期純利益	415,529	490,204
法人税、住民税及び事業税	200,787	295,103
法人税等調整額	△59,135	△109,941
法人税等合計	141,651	185,162
四半期純利益	273,877	305,041
親会社株主に帰属する四半期純利益	273,877	305,041

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	273,877	305,041
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,897	13,115
為替換算調整勘定	△1,913	56
その他の包括利益合計	△14,810	13,171
四半期包括利益	259,067	318,213
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	259,067	318,213

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2018年1月1日 至2018年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		調整額（注）	合計
	情報サービス	セキュリティシステム		
売上高				
外部顧客への売上高	3,499,657	981,280	—	4,480,937
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,012	—	△7,012	—
計	3,506,669	981,280	△7,012	4,480,937
セグメント利益	260,957	149,472	1,042	411,472

（注）セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2019年1月1日 至2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		調整額(注)	合計
	情報サービス	セキュリティシステム		
売上高				
外部顧客への売上高	4,687,544	1,010,176	—	5,697,721
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,743	905	△16,648	—
計	4,703,288	1,011,082	△16,648	5,697,721
セグメント利益	311,728	163,360	4,043	479,132

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「情報サービス」セグメントにおいて、株式会社テイクスおよびコンピュータハウス株式会社の発行するすべての株式を取得し(株式会社テイクスは間接保有)、連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては1,779,771千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。